科目ナンバー	TCP-4-021-ky		科目名	教職実践演習(初等)					
教員名	平岡 さつき、 直、清水 弘 i	佐藤 高司、岸 一弘. 3	、本多正	開講年度学期	2020年度 後期		単位数	2	
概要	教職実践演習では、これまで1年次より積み上げてきた教師としての資質のうち、4年次までに不足していると思われる知識・技能などを補充させるために、調査、ディスカッション、模擬授業などを通し、教師として必要な使命感や責任感、教育的愛情等、社会性や対人関係能力、児童生徒理解や学級経営などの課題を発見し、それらの課題に対して自ら克服する手段を計画・実施することによって、教師としての資質をより確かなものとします。								
到達目標		習においては、教員と 記服することをめざし		資質・能力を総	合的に自ら評価し	、自己の)課題を発見	して、	
「共愛12の力」と	「共愛12のカ」との対応								
識見		自律する力		コミュニケーションカ		問題に対応するカ			
共生のための知言	哉	自己を理解する力	0	伝え合う力	0	分析し、	思考する力		
共生のための態度	隻	自己を抑制する力		協働する力	0	構想し、	実行する力	0	
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築する	3 カ	実践的ス	(キル	0	
教授法及び課題の フィードバック方 法		ける科目の専任教員、教科に関する科目の専任教員、教職経験者である非常勤講師、また、連 ある前橋市教育委員会及び同じく連携関係にある同市立笂井小学校をはじめとする同市立小 に中学校、連携関係にある伊勢崎市教育委員会及び同市立小学校、中学校、本学園に併設され 園中学校・高等学校の協力を得て実施します。 アーク、プレゼンテーション、指導案の作成および模擬授業を課します。担当教員はグループ ス、全体発表後に総評のうえ指導します。							
アクティブラーニン	ング	サービスラ	ラーニング		課題解決型	学修)	
受講条件 前提 教職科目ですので、教員免許状を取得希望であることが原則です。									
アセスメントポリ 確認しますシー及び評価方法 課題設定が		教員養成段階における「自己を理解する力」、「協働する力」、「実践的スキル」等に関わる力を け。 ができるか、グループワーク、発表する力、ディスカッション能力、授業構想力、自らの課題に J組んでいるか、また、そうした課題を習得できたかを総合的に評価します。							
教材 特に指定し		ません。必要な資料は、適宜配布します。							
参考図書	参考図書 随時紹介します。								
内容・スケジュー	ル								
1週目									
授業学修内容	履修カルテをす	もとに自らの課題を発	見する。						
授業外学修内 容	これまでの教職に関する学びを省みて、自分に足りない力をこの授業の課題 時間数 1								
2週目							•		
授業学修内容	自らの課題にて	ついてのグループ討詞	義(共通する	課題を持つグル	レープ)				
授業外学修内 容	グループ討議によって、自らの課題を明確にし、課題克服に必要と思う学びに ついて考える。 時間数 2			数 2					
3週目							Į.		
授業学修内容	教育に関する	講演:講演内容に関す	よる小論文を	を書き、次回に提	 - - - - - -				
4週目							·		
授業学修内容	グループ内で	の課題克服のための	発表準備()					
授業外学修内 容	業外学修内 グループ内発表のための研究を行う。 時間数 5								
5週目									
授業学修内容	グループ内で	の課題克服のための	発表準備(1)					
ı						1			

特別数 3 7週日 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1	授業外学修内 容	グループ内発表のための研究、準備を行う。	時間数	5				
受業外学修内容 グループ内発表のための研究、準備を行う。 時間數 3 7週日 投業学修内容 課題完服のための授業計画案の発表(グループ内発表)。グループごとに執負が担当する。 投業外学修内容 発起完服のための授業計画案の発表(グループ内発表)。グループごとに執負が担当する。 投業学修内容 外部講師(現場教師)による講演 議演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。 技業学修内容 投展投業の指導案の作成(リグループワーク グループ発表のための研究、準備を行う。 時間数 5 10週日 投業学修内容 投展投業の指導案の作成(リグループワーク グループ発表のための研究、準備を行う。 時間数 5 11週日 投票学修内容 投展投業の指導案の作成(リグループワーク グループ発表のための研究、準備を行う。 時間数 5 12週日 投票学修内容 投展投業の指導案の作成(リグループワーク グループ発表のための研究、準備を行う。 時間数 5 13週日 投票学修内容 投展投業の実践発表(リ) 安発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。 時間数 2 13週日 投票外学修内容 投展投業の実践発表(リ) 安発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。 時間数 2 13週日 投票外学修内容 投票投票表(明) 安那表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。 時間数 2 14週日 投票外学修内容 教育に関する講演:議演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。 投票外学修内容 教育に関する講演:議演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。 技術と対しての基本的な資質能力の確認とまとめ 投票外学修内容 教育に関する講演・議演内容に関する小論文を作成する。 時間数 2 13週日 投票外学修内容 教育に関する講演・議演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。 時間数 2 2 13週日 投票外学修内容 教育に関する講演・議演内容に関する小論文を作成する。 時間数 2 13週日 投票外学修内容 教育に関する講演・議演内容に関する小論文を作成する。 時間数 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3	6週目							
空の	受業学修内容 課題克服のための授業計画案の発表(グループ内発表)。グループごとに教員が担当する。							
授業学修内容	授業外学修内 容	グループ内発表のための研究、準備を行う。	時間数	3				
接案外学修内容 各発表と討議を踏まえ、自分の発表の内容をまとめなおす。 時間数 5	7週目							
各売表と討議を踏まえ、目分の発表の内容をまとめなおす。 時間数 日表学修内容 外部講師(現場教師)による講演 講演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。 時間数 2 日表学修内容 教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。 時間数 2 日表学修内容 模擬授業の指導業の作成(I)グループワーク 7発表のための研究、準備を行なう。 時間数 5 日の週目 技業学修内容 模擬授業の指導業の作成(II)グループワーク 技業学修内容 模擬授業の指導業の作成(II)グループワーク 技業学修内容 模擬授業の指導業の作成(II)グループワーク 技験学修内容 模擬授業の指導業の作成(II)グループワーク 技験学修内容 模擬授業の指導業の作成(III)グループワーク 技験学修内容 模擬授業の指導業の作成(III)グループワーク 大ループ発表のための研究、準備を行う。 時間数 5 日本学学修内容 模擬授業の指導業の作成(III)グループワーク 大ループ発表のための研究、準備を行う。 時間数 5 日本学学修内容 模擬授業の実践発表(I) 技験学修内容 模擬授業の実践発表(I) 技験学修内容 模擬授業の実践発表(II) 日本学学修内容 模擬授業の実践発表(II) 技験学修内容 模擬授業の実践発表(II) 技験学修内容 技験学修内容 技術と対し、課題完服に繋げるためのまとめを行う。 時間数 2 日本学学を内容 教育に関する講演主講演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。 時間数 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1	授業学修内容	課題克服のための授業計画案の発表(グループ内発表)。グループごとに教員が担	旦当する。					
投業学修内容 外部講師(現場教師)による講演 講演内容に関する小論文を作成する。 時間数 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	授業外学修内 容	各発表と討議を踏まえ、自分の発表の内容をまとめなおす。	時間数	3				
投業外学修内 教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。 時間数 2 1 2 2 2 2 3 3 3 3 3 3	8週目							
会 教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。 時間数 2 9週目 授業学修内容 模擬授業の指導案の作成(I)グループワーク 授業外学修内 グループ発表のための研究、準備を行なう。 時間数 5 10週日 授業学修内容 模擬授業の指導案の作成(II)グループワーク 授業外学修内 を	授業学修内容	外部講師(現場教師)による講演 講演内容に関する小論文を書き、次回に提出する	5.					
接口	授業外学修内 容	教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。	時間数	2				
投業外学修内 容	9週目							
特別数 5 10週目 10	授業学修内容	模擬授業の指導案の作成(l)グループワーク						
接業学修内容 模擬授業の指導案の作成(III)グループワーク 日間数 5	授業外学修内 容	グループ発表のための研究、準備を行なう。	時間数	5				
投業外学修内 容	10週目							
2	授業学修内容	模擬授業の指導案の作成(II)グループワーク						
授業学修内容 模擬授業の指導案の作成(III)グループワーク 授業外学修内 タループ発表のための研究、準備を行う。 時間数 5 12週目 接援授業の実践発表(I) 接援授業の実践発表(I) 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日報 日	授業外学修内 容	グループ発表のための研究、準備を行う。	時間数	5				
投業外学修内容 グループ発表のための研究、準備を行う。 時間数 5 12週目 接類授業の実践発表(I) 接類授業の実践発表(I) 日間数 2 13週目 日間数 2 13週目 日間数 2 13週目 日間数 2 14週目 日間数 2 14週目 日間数 2 15週目 日間数 2 15辺円 日間数 日間数	11週目							
おおける はまりまする おおりまする おおける はまりまする はまりまする	授業学修内容	授業学修内容 模擬授業の指導案の作成(III)グループワーク						
授業学修内容 模擬授業の実践発表(I) 授業外学修内 各発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。 時間数 2 13週目 授業学修内容 模擬授業の実践発表(II) 授業外学修内 各発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。 時間数 2 14週目 授業学修内容 教育に関する講演:講演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。	授業外学修内 容	グループ発表のための研究、準備を行う。	時間数	5				
授業外学修内 容 各発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。	12週目							
容 各発表に対し、課題免服に繋げるためのまとめを行う。 時間数 2 13週目 授業学修内容 模擬授業の実践発表(II)	授業学修内容	模擬授業の実践発表(1)						
授業学修内容 模擬授業の実践発表(II) 授業外学修内	授業外学修内 容	各発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。	時間数	2				
授業外学修内 容 名発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。	13週目							
容 各発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行つ。	授業学修内容	模擬授業の実践発表(II)						
授業学修内容 教育に関する講演:講演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。 授業外学修内 教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。 時間数 2 15週目 授業学修内容 教師としての基本的な資質能力の確認とまとめ 授業外学修内 教育実践演習の課題克服の研究を通して自分に足りなかった力は身について きたかを振り返る。 時間数 2	授業外学修内 容	各発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。	時間数	2				
授業外学修内 教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。 時間数 2 15週目 授業学修内容 教師としての基本的な資質能力の確認とまとめ 投業外学修内 教育実践演習の課題克服の研究を通して自分に足りなかった力は身について 容 きたかを振り返る。 時間数 2 上記の授業外学修時間の合計 46	14週目							
容 教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。 時間数 2 15週目 授業学修内容 教師としての基本的な資質能力の確認とまとめ 授業外学修内 教育実践演習の課題克服の研究を通して自分に足りなかった力は身について きたかを振り返る。 時間数 2 上記の授業外学修時間の合計 46	授業学修内容	教育に関する講演:講演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。	1					
授業学修内容 教師としての基本的な資質能力の確認とまとめ 授業外学修内 教育実践演習の課題克服の研究を通して自分に足りなかった力は身について	授業外学修内 容	教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。	時間数	2				
授業外学修内 教育実践演習の課題克服の研究を通して自分に足りなかった力は身について 時間数 2 上記の授業外学修時間の合計 46	15週目							
容 きたかを振り返る。 時間数 と 上記の授業外学修時間の合計 46	授業学修内容	教師としての基本的な資質能力の確認とまとめ	1					
	授業外学修内 容		時間数	2				
その他に必要な自習時間 44	上記の授業外学修時間の合計			46				
	その他に必要な	その他に必要な自習時間 44						

Nu	mber	TCP-4-021-ky	21-ky Subject Teaching Practicum evel)		n Seminar(Elementary L	
Na		D. 本多 正直(Honda Masanao). 清水 弘	rear and 3	Second semester for 2020	Credits	2

	己(Shimizu Hiromi)				
Course O utline	In this "Teaching Practicum Seminar", o ed since entering univercity, in order to ht to be lacking, we will use surveys, dis sense of mission and responsibility, edu relationships, understanding of the child hers. By planning and implementing met urther establish our qualities as teacher	supplement to scussions, and cational love, ren and class thods for con-	those skills and known in the second to the second the	owledge wh discoverissu oficiency at ich are nece	ich are thoug ues such as a interpersonal ssary as teac